

個人投資家さま向け会社説明会

三和ホールディングスの概要と取り組み

2023年12月14日

三和ホールディングス株式会社

(東証プライム・証券コード：5929)

代表取締役社長

高山 靖司

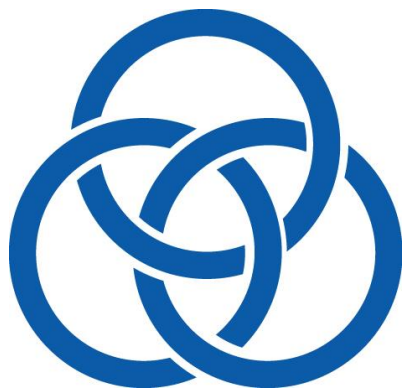
本日本話する内容

2

- | | | | |
|----|---------------|----|----------------|
| 3 | 会社概要 | 11 | 長期ビジョンと中期経営計画 |
| 4 | 三和グループの歴史 | 12 | 社会に貢献する商品・サービス |
| 5 | 日本における主要商品 | 13 | ESGマテリアリティとKPI |
| 6 | 日本における強み | 14 | 株価推移について |
| 7 | 北米における強みと主要製品 | 15 | 株主還元 |
| 8 | 欧州における強みと主要製品 | 16 | 株主優待情報 |
| 9 | アジア事業の成長力強化 | 17 | 外部からの評価 |
| 10 | 業績推移 | 18 | コーポレートサイトについて |

「予想」に関する注意

当資料に記載されている内容は、様々な前提に基づいたものであり、記載された業績予想、各施策の実現を確約したり、保証するものではありません。



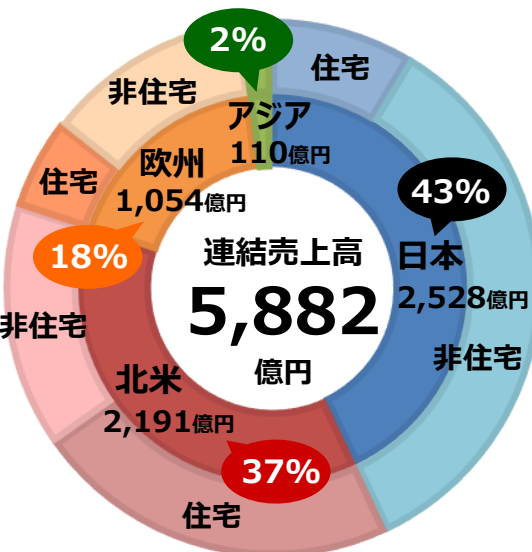
三和グループの使命

安全、安心、快適を提供することにより社会に貢献します

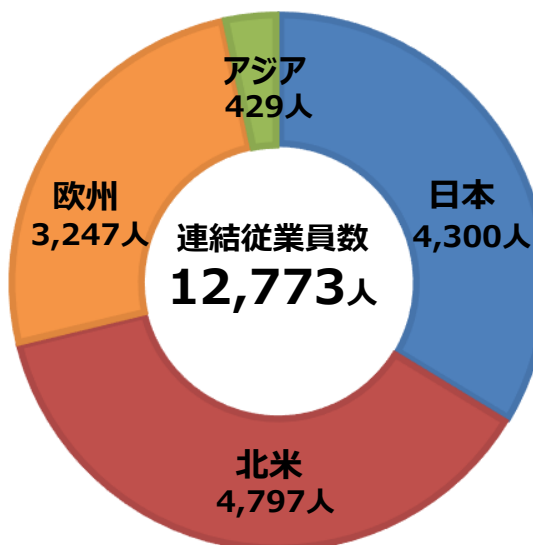
三和グループの経営理念

- 一、お客様すべてが満足する商品、サービスを提供します
- 一、世界の各地域で評価されるグローバルな企業グループとなります
- 一、個人の想像力を結集して、チームワークにより、企業価値を高めます

2022年度売上構成比



従業員の地域別構成比



会社概要

会社名	三和ホールディングス株式会社
設立	1956年4月10日
代表取締役社長	高山 靖司
連結従業員	12,773人
資本金	38,413百万円
連結売上高	5,882億円
連結子会社	65社（国内12社 海外53社）

(2023年3月期)

三和グループの歴史

4



2003年 NF買収時

2003年
欧州NFを買収

2016年
監査等委員会設置会社へ移行

2019年
鈴木シャッターを買収

2007年
持株会社体制へ移行

1996年
米国ODCを買収



1996年 ODC買収時

1986年
香港・シンガポールに現地法人を設置、
初の海外進出

1970年
東京・大阪両証券取引所市場第1部に上場

1963年
本社を東京へ移転

1956年
三和シャッター製作所として兵庫県尼崎市に設立



創業当時の初荷風景



太田ドア工場

1969年
三和ドア工業(株)を設立
ドア事業に進出

日本における主要商品

5



: マーケットポジション

日本

シャッター製品



重量シャッター



オーバースライダー



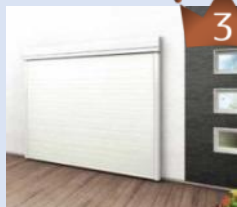
軽量シャッター



高速シートシャッター
「クイックセーバー」シリーズ



断熱スライダー



窓シャッター
「マドモア」シリーズ



ウォーターガード
防水シャッター



耐火クロス製
防火・防煙スクリーン

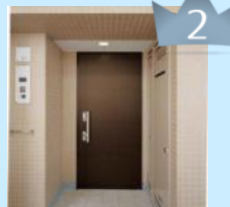


ガレージドア

ドア製品



スチールドア



マンションドア



医療施設向けドア
「スムード」シリーズ

その他製品



間仕切



ステンレスフロント



自動ドアエンジン



アルミフロント



カーテンウォール



メールボックス
宅配ボックス

日本における強み



日本

特徴

- 三和シャッターを中心とした全国に広がる販売・製造拠点網
- 施工・アフターサービスまで一気通貫のビジネスネットワーク
- 3,900名超の施工技術者を全国に配置した強固な施工体制
- シャッター、ドアだけではない“多品種ラインアップ”

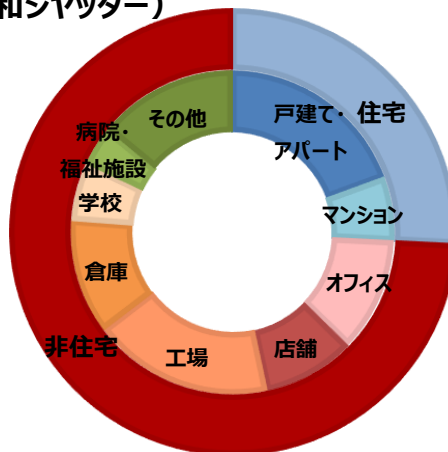
市場動向

主力の非住宅向けではこの先も需要は堅調に推移する見込み。

- ・オフィス、商業施設
首都圏、関西など大都市圏において、大型再開発プロジェクトが進行中。
- ・工場
生産の国内回帰等により、工場建設が堅調に推移。
- ・倉庫、物流センター
eコマースは今後も拡大見込のため、大型物流センターの建設は高水準を維持。

製品用途別

2022年度製品用途別売上構成
(三和シャッター)



大半を占める非住宅分野では工場・倉庫・店舗にシャッター製品、オフィス・病院にはドア製品が多く採用されている。

主な取り組み

- ・販売価格
鋼材価格上昇分の販売価格への転嫁は着実に浸透し、採算性を確保。
- ・高付加価値商品の拡充
防災・減災・環境配慮商品やIoT技術を駆使したスマート化製品のラインアップ拡充を推進。
- ・メンテ・サービス事業
2016年より、防火設備の定期検査報告が制度化したことにより、法定検査が伸長し、売上は国内事業全体の約20%近くを占める。修理・メンテナンスは商品の新規販売と比較し収益性が高い。

北米における強みと主要製品

北米 – オーバーヘッドドア社 –

The Genuine. The Original.



特徴

- 1921年創業の業界のパイオニア
- 商品ラインアップが豊富
- 約450箇所の代理店網を中心とした強固な販売ネットワーク

市場動向

- ・住宅向け
金利上昇により需要は減退していたが、2023年上期で底打ちし、下期以降は需要が回復する見通し。
- ・非住宅向け
メガプロジェクトとしての半導体・自動車等の工場向けや倉庫・店舗が堅調。

主な取り組み

- ・販売価格
鋼材価格の急激な上昇分を着実に販売価格に転嫁。その後も販売価格を高水準に維持し、高い収益性を確保。
- ・コスト削減
製造・配送等の生産性改善によるコスト削減を推進。



産業用
セクショナルドア



産業用
シャッター



ガレージドア



開閉機



自動ドア

欧州における強みと主要製品

欧州 – ノボフェルムグループ –



特徴

- 1955年創業の業界 2 位のシェア
- M&Aによりコア製品のシェアアップ
- 施工・サービス事業の強化

市場動向

・住宅向け

足元は厳しい状況が続いている。
地域別ではドイツ・イギリス・北欧
の市場が減速している。

・非住宅向け

工場、倉庫向けが多くを占める。
足元では南欧、特にフランスが
オリンピックや政府プロジェクト
等の需要により安定している。

主な取り組み

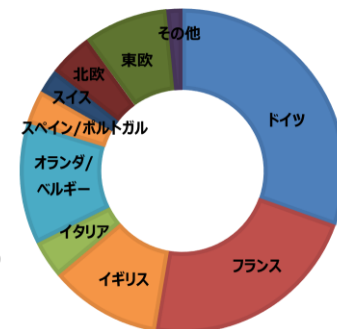
・地域別業績

M&Aの効果により、ドイツ以外の
国が占める割合が増加。

・M&A戦略

コア事業の未進出エリアに対して、
M&Aを有効に活用しながら全体の
シェアを拡大していく。

2022年度国別売上構成



産業用ドア



ガレージドア



スチールドア

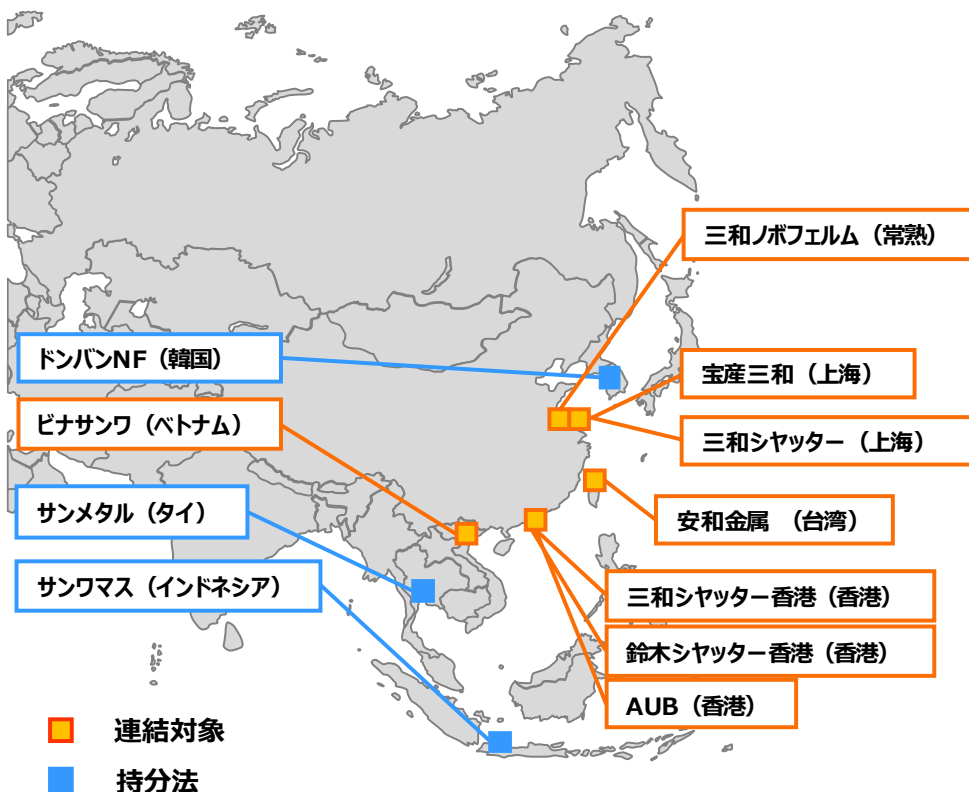


ドックレバラー

アジア事業の成長力強化

アジア

戦略 グループ各社の一体運営強化および連結対象事業の拡大



特徴

- 1986年に業界に先駆けてアジア（香港・シンガポール）へ進出
- 日本の技術を活かした高品質な製品ラインアップ
- グループ各社の販路・技術力を活用
- 2022年にはアジアで初となるM&Aとして香港AUB社を買収、事業強化と領域拡大を進める

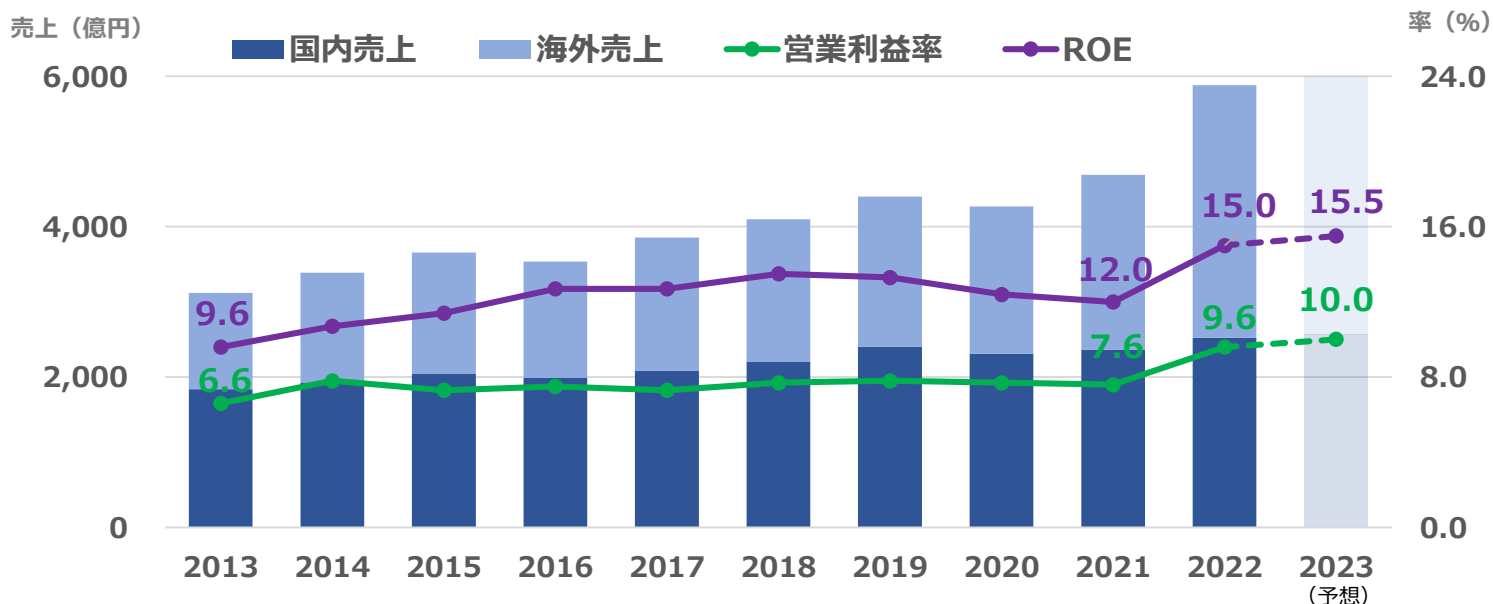
NEWS! 三和NF常熟 新工場を建設

2022年6月



三和NF常熟は、江蘇省常熟市に工場を新設。2022年6月よりドアの生産を開始。2023年6月には、在上海日本国総領事大使や常熟市の来賓、主要顧客などを招き、開業式を開催。

業績推移



- 売上高は、約**2,900億円**増加、特に海外売上高は**2.7倍**に
- 営業利益率は、**3.4%**上昇
- 時価総額は、最大**5,300億円**を超え、**3倍強**の水準

左記数値は全て2013年度対比

2023年度 第2四半期 決算

決算のポイント

- 2023年度上期実績は、米州・国内事業が好調を維持し、売上・利益とも過去最高となった
- 2023年度通期予想は、減収減益から増収増益へ上方修正
売上6,000億円、営業利益600億円となり、
営業利益率は、初めて10.0%に達する見込み
- 株主還元拡充のため、50億円の自社株取得を発表

	2022年度 通期実績	2023年度 上期実績	2023年度 通期修正予想	中計2024 目標
売上高	5,882億円	2,857億円	6,000億円	5,800億円
営業利益	563.1億円	277.3億円	600.0億円	450.0億円
営業利益率	9.6%	9.7%	10.0%	7.8%
ROIC (注1)	20.9%	-	19.5%	17.5%
ROE (注2)	15.0%	-	15.5%	13.5%

(注1) ROIC = 税引後営業利益(NOPAT) / 投下資本 × 100

※ ROICで用いる投下資本は、現金および現金同等物、投資有価証券を除いて算定

(注2) 株主資本コストは8%を目標

2030

三和グローバルビジョン2030

To be a Global Leader of Smart Entrance Solutions
～高機能開口部のグローバルリーダーへ～

気候変動やデジタル化などで変化する社会のニーズに応える高機能な開口部ソリューションをグローバルに提供し、サステナビリティ経営と人材力強化により全てのステークホルダーから評価される企業グループとなります。

2024

中期経営計画2024（2022～2024年度）

基本戦略

1. 日・米・欧のコア事業（シャッター・ドア、サービス）の強化、領域拡大
2. アジア事業の成長力強化
3. 防災・環境対応製品の拡充と製品・サービスのスマート化推進
4. デジタル化とものづくり革新による生産性向上
5. サステナビリティ経営の推進

社会に貢献する商品・サービス

12

気候変動やデジタル化などで変化する社会のニーズに応える気候変動対応や防災に貢献する商品の品揃え強化と商品・サービスのスマート化・IoT化を推進します。

気候変動

緩和

空調効率を向上させる高速シートシャッターなど、温室効果ガスを抑制して、地球温暖化の進行を食い止める“緩和”に貢献する商品



2022年度実績

1,066 億円

2024年度目標

960 億円

適応

気候変動の進行に備えた防水・耐風商品など、気候変動による被害の回避・低減に備える“適応”に貢献する商品



2022年度実績

205 億円

2024年度目標

180 億円

防災

防災に貢献する商品

延焼防止、安全な区画形成に貢献する防火シャッター、防火ドア、耐火間仕切や、地震時の被害軽減に貢献する耐震仕様商品



2022年度実績

691 億円

2024年度目標

810 億円

防災機能を支えるメンテナンス・サービス

社会インフラとしての防災機能の維持と、住み続けられるまちの実現に貢献するメンテナンス、点検、修理サービス



2022年度実績

742 億円

2024年度目標

760 億円

スマート化・IoT化

商品・サービスのスマート化・IoT化を推進し、便利で快適な暮らしの実現に貢献します。



RemoSma

スマートフォン
操作システム
(三和シャッター)



Aladdin Connect

スマートフォン
操作システム
(ODC)



Homematic IP
Smart Home
System

ガレージドア用
操作システム
(NF)

ESGマテリアリティとKPI

2022年5月に設定したESGマテリアリティのKPI達成に向け施策を推進し、
“サステナブルで住み続けられるまちの実現”への貢献を目指す。

ものづくり



2023年

- Re-carbo (リカーボ) シリーズ「高断熱OSD」「断熱クイックセーバーTR」を発売



2024年度KPI

- 気候変動 (緩和・適応) 貢献商品 **1,140億円** (連結)
- 防災商品 **810億円** (連結)

環境



2023年

- 環境データ開示範囲の拡大 (連結)
- Scope3 CO2排出量 カテゴリー1,3,4算出 (三和シャッター工業)

- NF(イギリス・イタリア・スペイン)、上海宝産三和(中国)工場、三和シャッター九州工場に、太陽光発電設備を導入



NFのSchievano工場(イタリア)▲

2024年度KPI

- Scope1+2 CO2 排出量**10%**削減 (三和シャッター工業)

2024年(目標)

- Scope3 CO2排出量算出範囲拡大

2030年度KPI

- Scope1+2 CO2 排出量**30%**削減 (三和シャッター工業)
- 水使用量・廃棄物 排出原単位**10%**削減 (三和シャッター工業)

2050年

事業活動に伴う
CO2排出量
実質ゼロを
目指す

人



2023年

- 三和グループ人権方針の制定

- 次世代リーダー育成研修、女性社員向けキャリアアップ研修の実施



女性社員向けキャリアアップ研修▲

2024年度KPI

- 人権デュー・デリジェンスの実施

2030年度KPI

- 女性管理職比率 **15%** (連結)
- 女性従業員比率 **20%** (連結)

ガバナンス



2023年

- 取締役の株式保有ガイドライン制定

2024年度KPI

- ボードダイバーシティへの対応

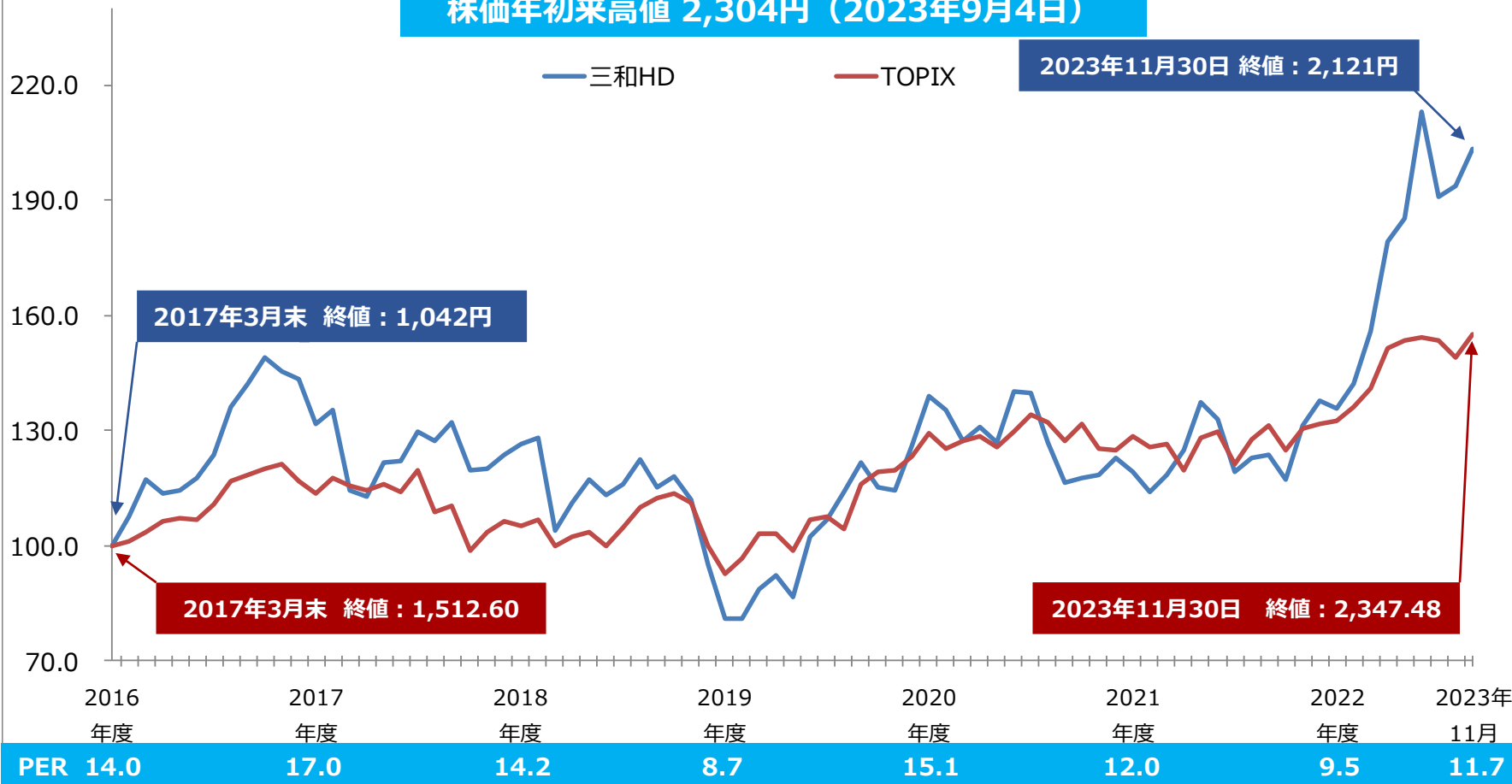
株価推移について

14

三和ホールディングス 株価の推移（2017年3月末=100としたときの指数）

株価年初来高値 2,304円（2023年9月4日）

（株価指数）

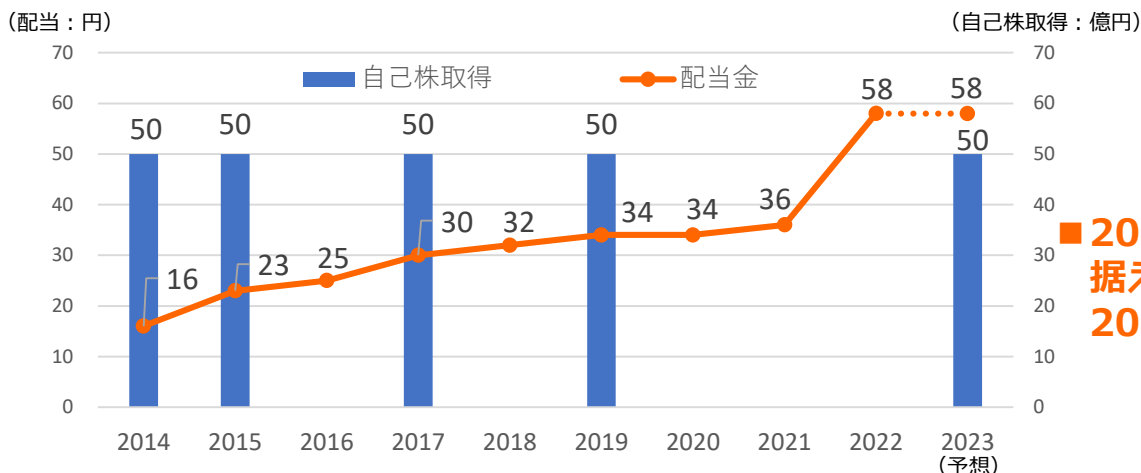


※2023年度通期
利益予想を使用

（2023年11月30日 現在）

株主還元

■ 配当金・自己株取得の推移



■ 2023年度の中間配当は29円を据え置き、期末配当については、2023年度決算確定時に判断する。

■ 配当性向 EPS（1株利益）の40%を目安として安定的な配当を目指す

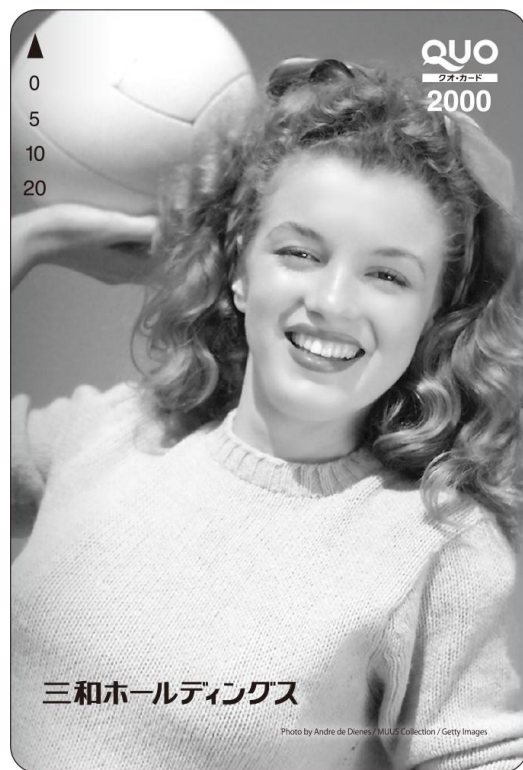
■ 自己株取得 成長のための必要な戦略投資を行い、また手元資金を考慮しつつ自社株取得を検討
50億円を上限とする自社株取得を決定

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 上期実績	2023年度 (修正)	2024年度 (予想)
配当性向	%	35.0	35.3	34.8	38.7	32.1	40.0	40.0
1株当たりの当期純利益	円	97.14	96.21	103.40	149.71	100.01	180.94	-
P E R（株価収益率）	倍	8.7	15.1	12.0	9.5	-	11.7	-
1株当たりの純資産	円	742.90	814.10	912.70	1,088.87	1,231.40	1,213.60	-
P B R（株価純資産倍率）	倍	1.1	1.8	1.4	1.3	1.6	1.7	-

株主優待情報

16

3月末現在の株主様を対象に、当社オリジナルのマリリン・モンローQUOカードをお渡ししています。



100株以上保有の株主様	オリジナルQUOカード 500円分
1,000株以上保有の株主様	オリジナルQUOカード 2,000円分 ※保有期間が2年以上の株主様

三和グループでは、1979年より毎年マリリン・モンローを起用し、QUOカードやカレンダーなどを制作しています。マリリン・モンローが他界し、はや61年となりますが、20世紀を代表する女優の一人として人気は高く、ご好評いただいております。

FTSEインデックスに選定

今年度も、世界の代表的なESG投資指数である「FTSE4Good Index Series」、「FTSE Blossom Japan Index」および「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定されました。



2023年インターネットIR表彰「優良賞」を獲得

大和インベスター・リレーションズが上場企業のホームページを調査・評価する「2023年インターネットIR表彰」において「優良賞」を獲得しました。



Women's Choice Award®を12年連続で受賞

オーバーヘッド社は、「Woman's Choice Award」ガレージドア部門において12年連続で1位を受賞し、「最も人に勧めたいアメリカのガレージドア」として選ばれました。



“超”モノづくり部品大賞の奨励賞を受賞

三和シャッター工業は、耐風形軽量シャッター「耐風ガードLS」が「2023年“超”モノづくり部品大賞」において、「奨励賞」を受賞しました。



キッズデザイン賞 ～子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門～を受賞

三和シャッター工業は、高遮音ドア「防音ガード」が「第17回 キッズデザイン賞 ～子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門～」を受賞しました。



日経SDGs経営調査★★★★に認定

日本経済新聞社が実施している「第3回日経SDGs経営調査」にて3つ星半に認定されました。



コーポレートサイトについて

18



■ 個人投資家様向けページ

<https://www.sanwa-hldgs.co.jp/ir/individual/>



■ 決算説明会 動画配信

<https://www.sanwa-hldgs.co.jp/ir/library/document.html>

三和ホールディングス株式会社

2023年度第2四半期決算説明会



ご清聴ありがとうございました